

深礎フレームの設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 / (旧基準)

静的フレーム法による固有周期(水平震度)、
上部構造部分の重量(分担重量)を算出

●H29道示対応
Advanced
¥550,000
(税抜¥500,000)
Standard
¥440,000
(税抜¥400,000)
Lite
¥330,000
(税抜¥300,000)

●旧基準
Advanced
¥438,900
(税抜¥399,000)
Standard
¥361,900
(税抜¥329,000)
Lite
¥308,000
(税抜¥280,000)

サブスクリプション価格
P.122~123参照
UC-1エンジニアスイート
P.31~32参照
Windows 8/10 対応
3DA対応
計算・CAD統合
3D配筋対応
電子納品 SXF3.1
IFC 3D PDF
有償セミナー

斜面上の組杭深礎基礎、柱状体深礎基礎及びフーチングの設計計算、図面作成プログラムです。基礎の安定照査、杭本体・フーチング部材の耐荷性能の照査及び耐久性能の照査を行うことができます。解析方向として面内解析又は面外解析が可能で、橋台、橋脚などの下部工とリアルタイム連動することにより、荷重や柱・フーチング形状を連動することが可能です。立体解析による荷重分担率の算定機能ではEngineer'sStudio®データファイル出力に対応しています。

機能	Lite	Standard	Advanced
柱状体深礎基礎	○	○	○
組杭深礎基礎	○	○	○
安定照査(永続・変動・偶発作用時)	○	○	○
底版照査(永続・変動・偶発作用時)	○	○	○
骨組み自動生成機能	○	○	○
荷重自動生成機能	○	○	○
CAD機能(3D配筋機能含む)	○	○	○
小判形状の杭	—	○	○
ライナープレート+ モルタルライニング混合土留め工	—	○	○
底版下面中心位置追加機能	—	○	○
立体解析による荷重分担率算定(通常版)	—	○	○
立体解析による荷重分担率算定(拡張版)	—	—	○
平面骨組みによる荷重分担率算定	—	—	○

部分係数法・H29道示対応

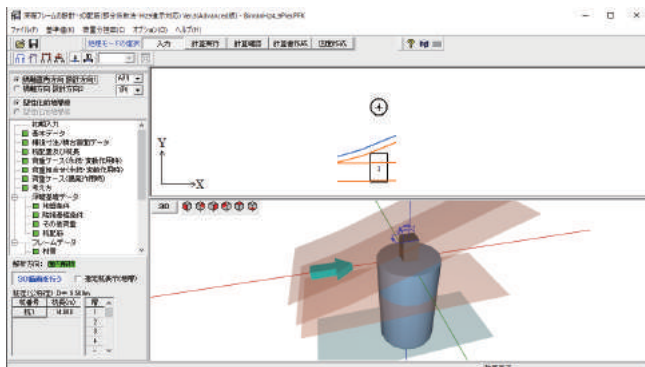
- 永続作用、変動作用、偶発作用時の照査に対応
- フーチングは、片持ち梁としての照査と骨組み解析した照査に対応
- 基礎ばね、杭のM-φ曲線、すべり角αの自動計算
- 杭形状は、円形と小判に対応
- 下部工製品(橋台、橋脚のH29道示対応版)とのデータ連動が可能
- 杭本体及び底版のCAD機能(3D配筋表示含む)に対応

Ver.3 改訂内容

2021年6月14日リリース

1. 平面骨組みによる荷重分担率算定に対応(Advanced版)
2. 骨組み自動生成機能の拡張(Standard版)
3. 荷重データと計算結果を全杭列分に拡張
4. 各列ごとに計算した基礎ばねの合算 5. 杭列間の地盤データコピー機能

▼メイン画面



【計算機能】

- 深礎基礎の計算:地盤抵抗に支持された面内・面外ラーメン骨組として計算
- 杭列に対して面内解析、面外解析が可能
- 杭体地中部の任意荷重、杭体突出部の土圧力の載荷
- 立体モデルによる荷重分担率算出
- 柱とフーチングの構造寸法の設定に対応。柱形状は、矩形・円形・小判形に対応
- 構造寸法から骨組みモデル、柱基部作用力と荷重分担率から荷重を自動生成
- 下部工製品(橋台、橋脚)とのデータ連動が可能

【地盤条件】

- 土質区分:「土砂および軟岩」「硬岩」
- 直線地層線、折線地層線の入力方式が可能

【図面作成】

- 柱状体基礎、組杭深礎基礎およびフーチングの配筋図、一般図、3D配筋生成に対応
- 配筋図: SXF(SFC/P21)、DXF/DWG、JWW/JWC形式のファイル出力に対応
- 3D配筋: 3DS、IFC、Allplan形式のファイル出力に対応

旧基準

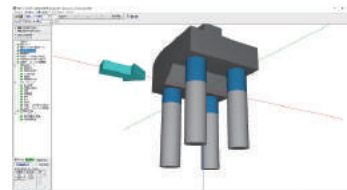
【計算機能】

- 杭頭接合部の設計が可能。杭とフーチングの接合部は剛接合として設計、杭頭部に作用する押し込み力、引抜き力、水平力、モーメントに対して安全性を照査
- 常時・レベル1地震時(震度法)、レベル2地震時(保有水平耐力法)による設計、レベル1、レベル2フーチングの設計に対応

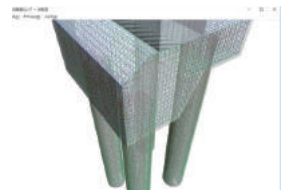
【地盤条件】

- 上載荷重、土圧力を考慮

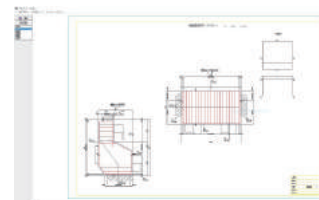
▼混合土留め



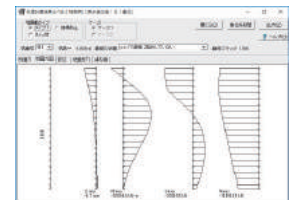
▼3D配筋



▼図面編集画面



▼レベル2杭体断面力図



▼荷重ケース(許容応力度法:左、レベル2地震時:右)(H29)

